

2013年12月期(第35期)
決算説明資料

2014年2月14日

① 株式会社 小田原エンジニアリング

経済の動向

《我が国の経済》

- ・経済政策や金融政策の成果と期待から円安や株価上昇が進む
- ・企業収益の改善や個人消費の持ち直し傾向がみられる
- ・緩やかな回復基調で推移

《世界経済》

- ・(中国)景気拡大のテンポは安定化
- ・(米国)緩やかな景気回復が続く
- ・(欧州)景気は弱さが残るものの持ち直しの動きがみられる
- ・(全体)弱い回復で推移

当社グループの活動

- ① 国内外のモーター製造業界の設備投資動向に沿った製品を提供
- ② 積極的な営業活動を展開
- ③ 更なる技術開発とコストダウンに努めた
- ④ お客さまに満足いただける、生産効率向上に寄与する製品を開発・製品化
 - ・ハイブリッドカー用モーターの効率アップのために、占積率を向上させることができる平角線によるセミオート生産システム
 - ・ロボット・工作機械等に使用される大型サーボモーターの全自動ラインシステム
- ⑤ 生産能力向上、大型設備対応、業務効率向上等のため、土地・建物を取得し、改修、増築を進めるとともに本社を移転
- ⑥ ローヤル電機株式会社及びその子会社を株式公開買付けにより連結子会社化
- ⑦ モーター用巻線設備に、コイル巻線設備を加えた「巻線機事業」、「送風機・住設関連事業」を新たな中核事業と位置づけ、更なる収益基盤の強化、企業価値の増大を図る

連結業績の概要

《営業成績》

・売上高	5,626百万円(前期比 8.1%増)
・営業利益	182百万円(前期比 61.7%減)
・経常利益	372百万円(前期比 28.0%減)
・当期純利益	659百万円(前期比194.1%増)

《セグメントの業績》 ※当連結会計年度より事業セグメントの区分方法を見直したため、前期比は記載していません

①巻線機事業

・売上高	4,631百万円
・セグメント利益	470百万円

②送風機・住設関連事業

・売上高	993百万円
・セグメント損失	43百万円

③その他

・売上高	1百万円
・セグメント利益	1百万円

経営指標等の推移(連結)

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
売上高 (百万円)	3,035	4,148	5,068	5,206	5,626
経常利益 (百万円)	140	561	885	517	372
当期純利益 (百万円)	82	308	419	224	659
純資産額 (百万円)	7,070	7,279	7,579	7,706	9,039
総資産額 (百万円)	8,355	9,635	9,957	9,226	12,121
1株当たり純資産 (円)	1,200	1,243	1,294	1,316	1,437
1株当たり当期純利益 (円)	13.99	52.60	71.70	38.33	112.74
売上高経常利益率 (%)	4.6	13.5	17.5	9.9	6.6

業績推移(連結)

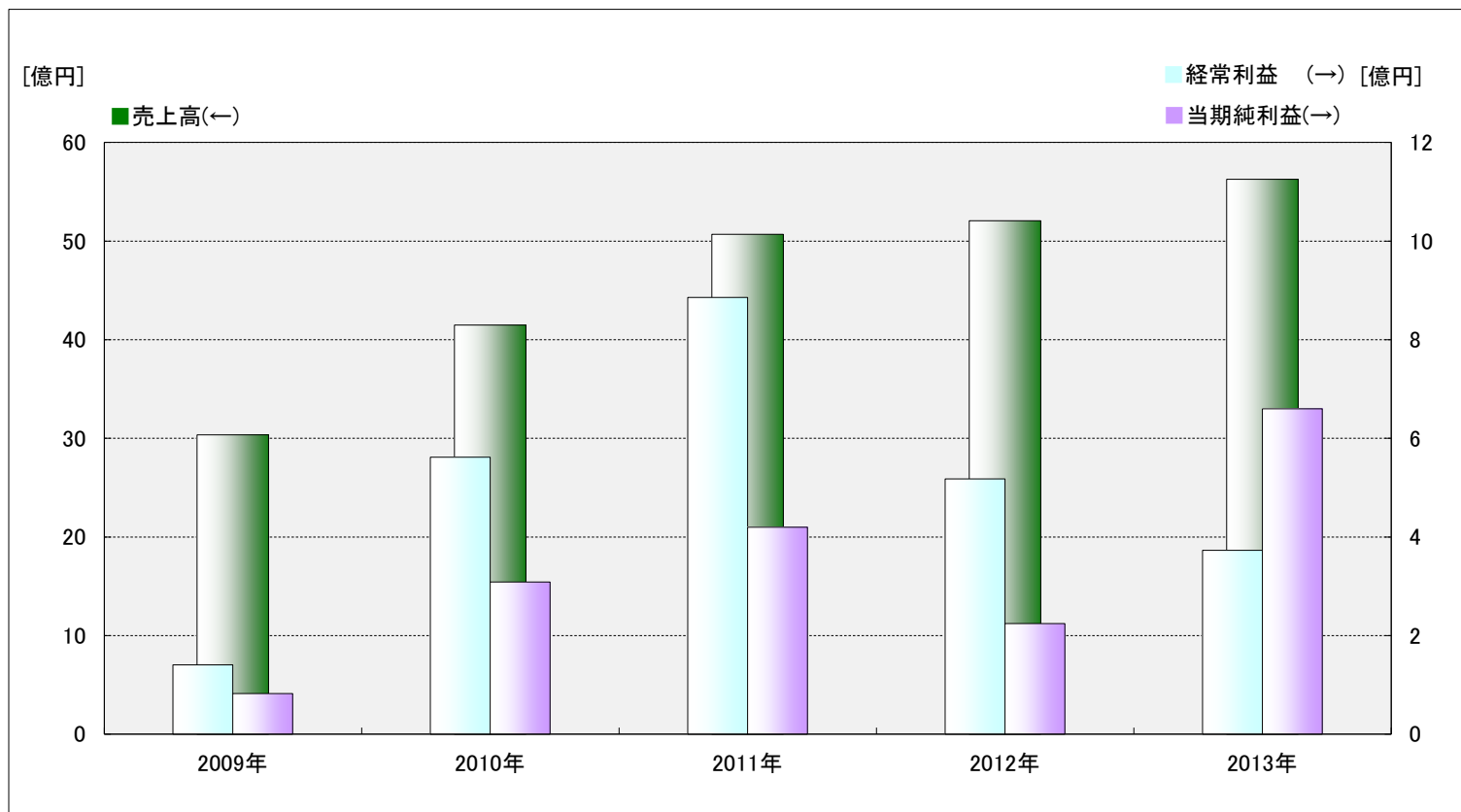
2009年 : 前半の受注低調が業績へ影響

2010年 : 過去最高の受注高、受注環境・生産活動とも順調

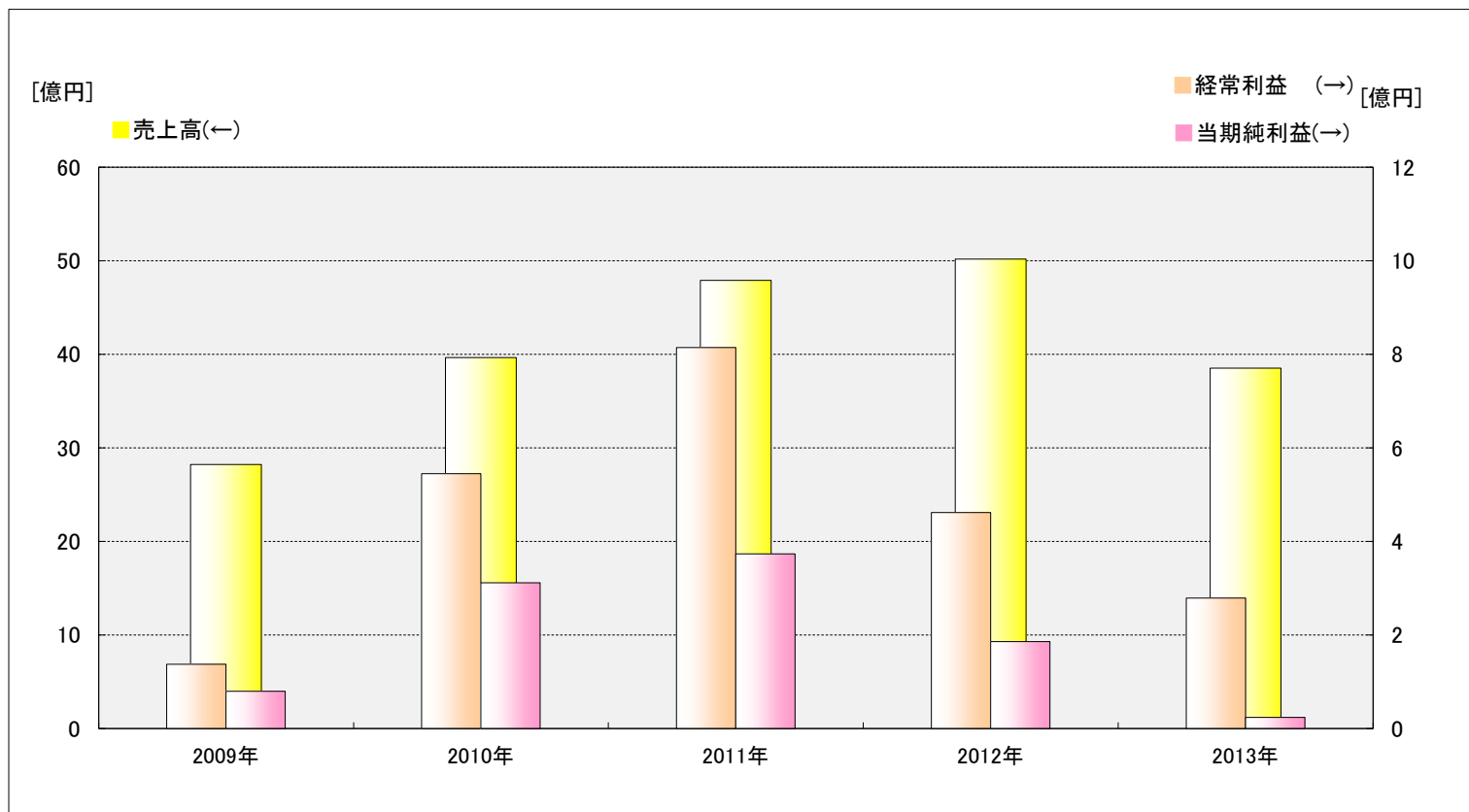
2011年 : 売上高は好調に推移、原価低減も図れた

2012年 : 個別売上高が過去最高を記録、開発要素の高い大口案件が原価率を押し上げ、厚生年金基金脱退損失引当金を計上

2013年 : 大型案件の売上が翌期以降にずれこむ、ローヤル電機(株)及びその子会社を連結子会社化、新社屋の土地・建物を取得及び増改築、本社移転費用の支出、特別利益(負ののれん発生益)及び減損損失の計上

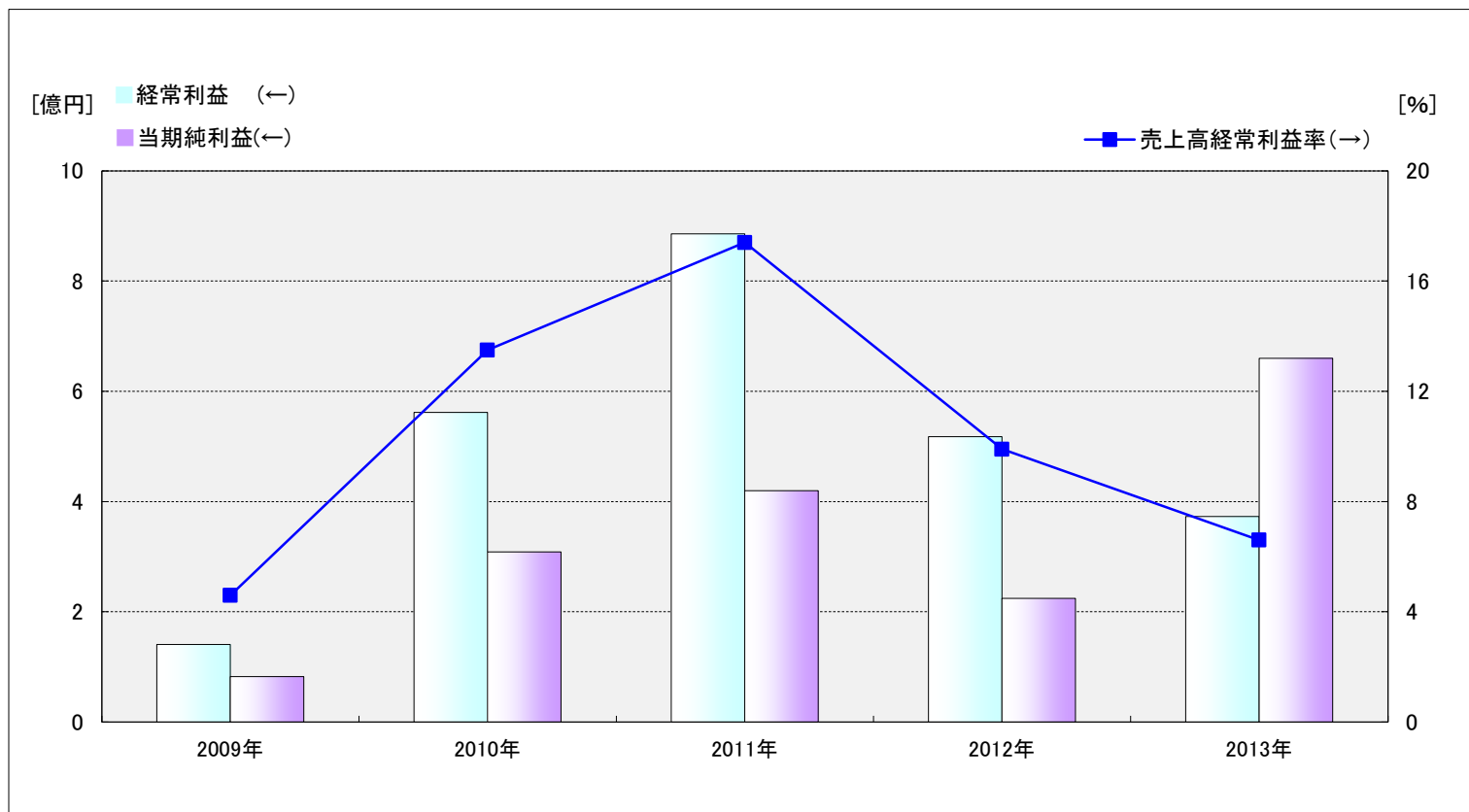


業績推移(単独)

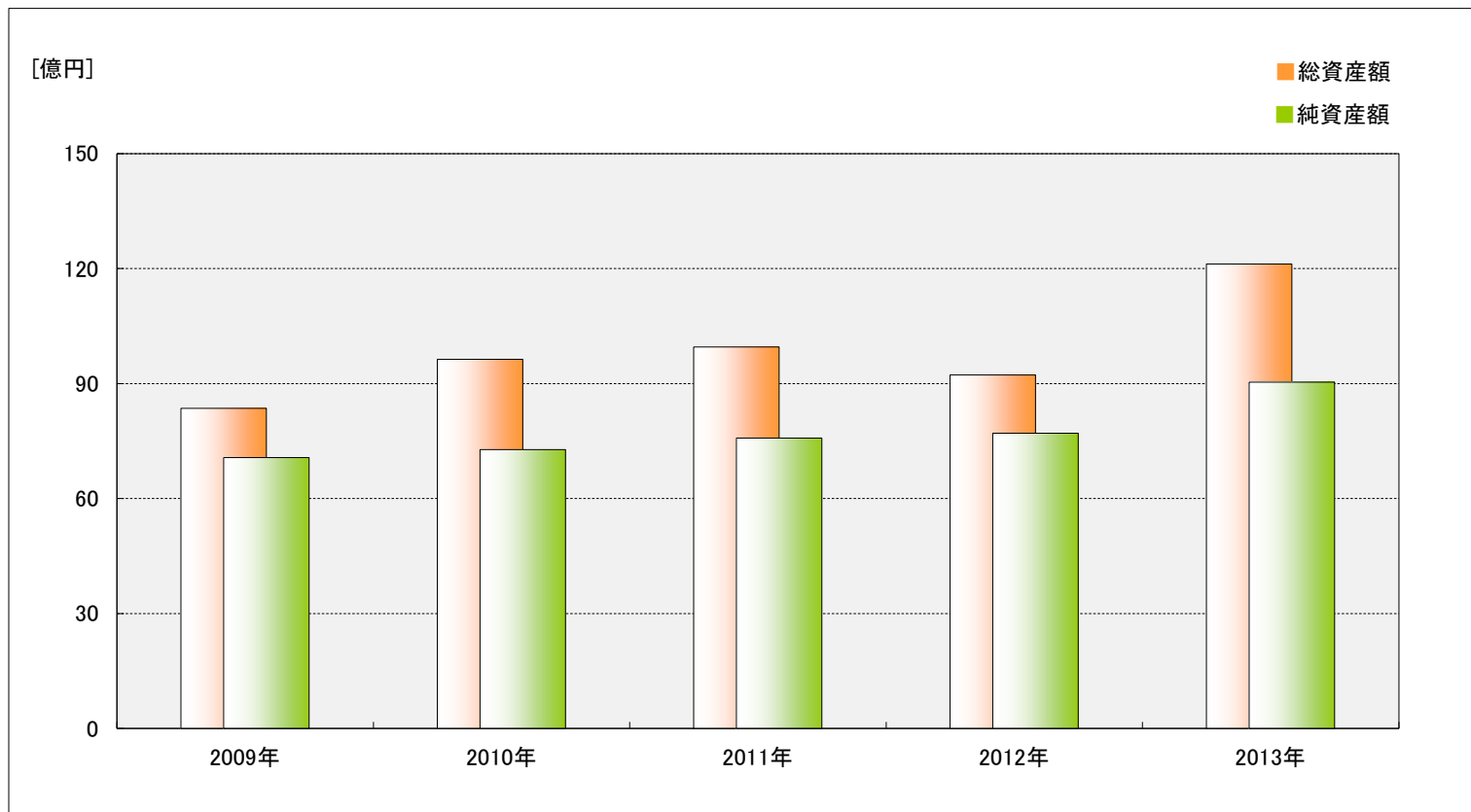


經常利益・当期純利益

・売上高經常利益率(連結)

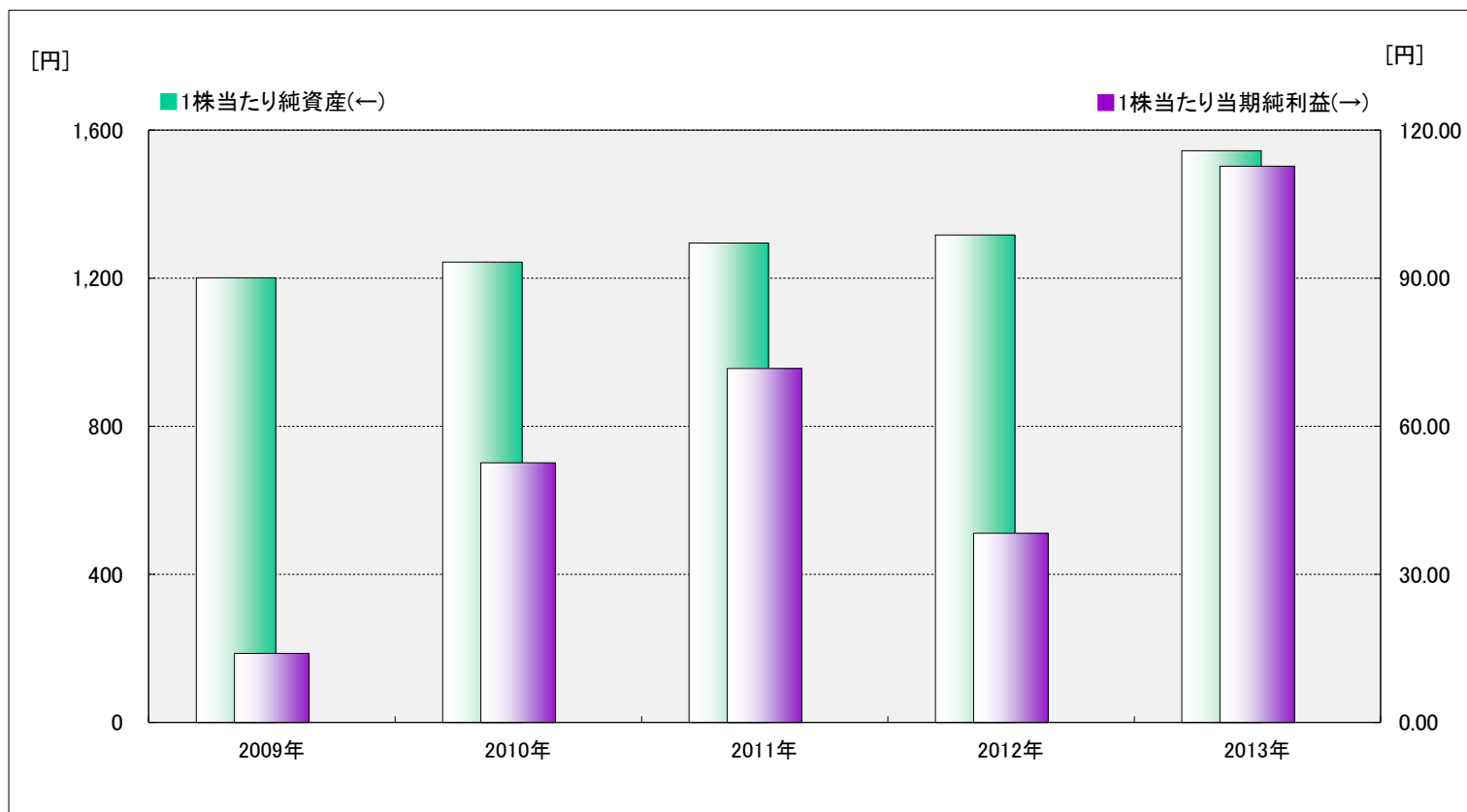


総資産額・純資産額(連結)

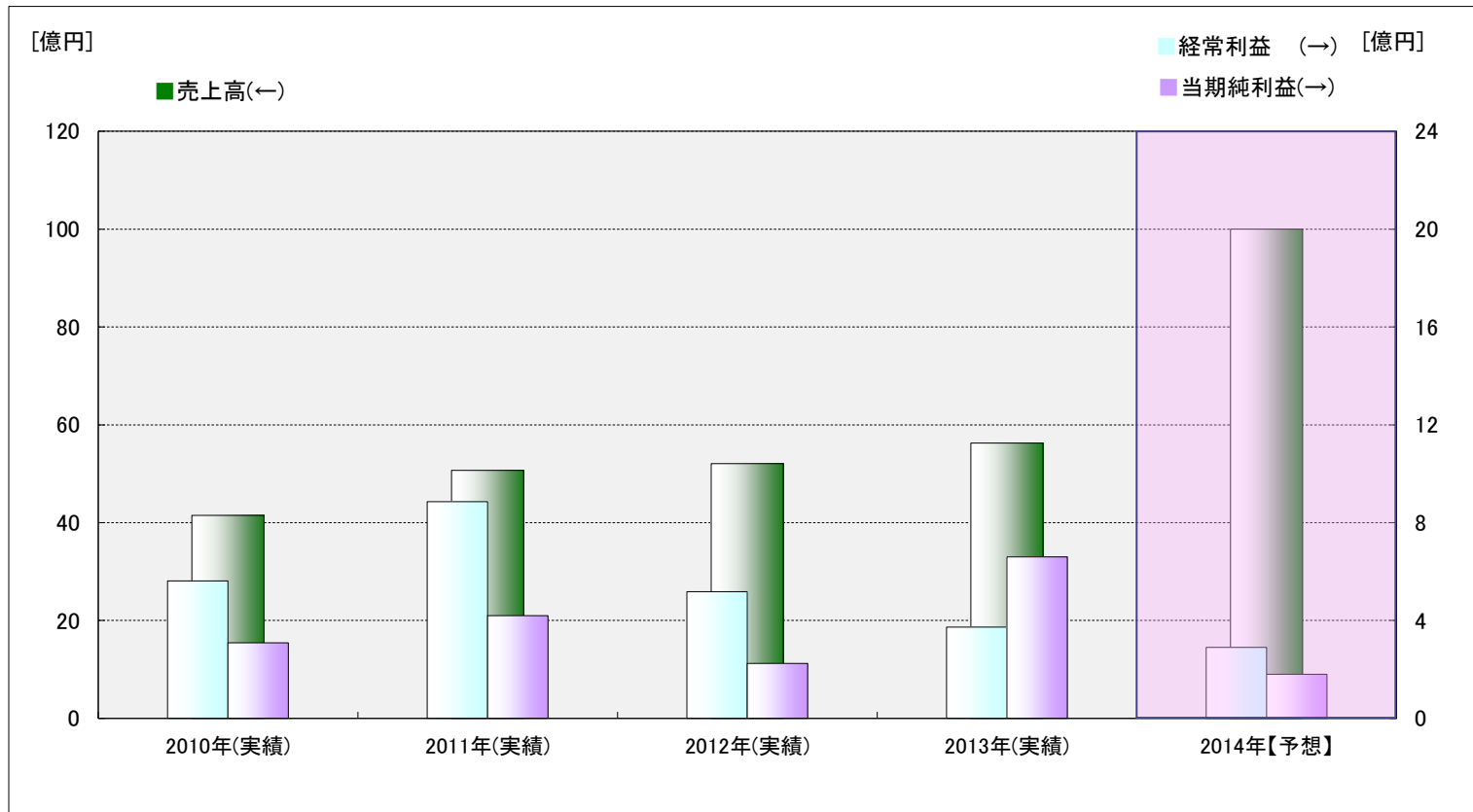


1株当たり純資産額

・ 1株当たり当期純利益(連結)



業績予想(連結)



決算説明資料について

本資料に記載されている業績予想等については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社グループが判断したものでありますが、今後の様々な要因の変化により、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することがあります。

従いまして、将来の業績等につきましては、実際の業績等とは異なる場合がありますのでご了承ください。

株式会社小田原エンジニアリング